

第4回木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	分類	頂いたご意見	頂いたご意見に対する考え方
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	最適な駆除手法はあるのか。	手で刈り取る方法がベストです。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	焼却処理できないのか。	可能です。昔の野焼きを行う方法でも良いと考えます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	オオキンケイギクの繁茂対策として、10年、20年のスパンで、芽が出てきたら、それを手抜きで抜根するという方法をとらなければだめだが不可能だと思う。一度全て焼却し、その後に河原植物を植えてはどうか。	駆除対策については、様々な手法があるため、駆除区画を細分し、適切な方法を実施していきたいと考えています。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	庭先にオオキンケイギクを植えていること等については、除去すべき対象であると周知徹底する方法を考えるべき。手近な所から駆除するのが良いのではないかと。	現在、特定外来種の駆除等については事業予算化されておらず、抜本的な対策に至っていません。今後の駆除・防除について地域の皆さんと議論していきたいと考えています。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	オオキンケイギクについて3年前くらいから防除しているが、年々増え続ける一方である。何かいい方法はないかと思っている。	草刈を行う際の移動にはパッカー車を使用し、刈り取った草は熱処理を行って堆肥化を行う事により、拡散を防いでいます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	除草のタイミングがオオキンケイギクの開花時期と合っていない。除草工事の早期発注、細分化するなど、もっと迅速な対応や集中的な除草はできないか。また、オオキンケイギクの防除イベントなどを行い、外来種に関する啓蒙活動をしっかりおこなってほしい。	花の開花時期が短いため、発注による対応は難しいです。広報活動については、継続して行っていきたいと考えています。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	資料によると木曾川でだけ外来種が多く発生しているが、なぜか。また、外来種のサンプリング手法や計測機器に関する詳細が知りたい。	木曾川だけに多く発生しているとの認識はありません。資料表記の問題です。サンプリング手法はかなりの多い個体を測っています。統計的にも検定できるぐらいのサンプリングはとっております。測定機器はノギス等です。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	かさだ広場にオオキンケイギクが外来種であるという看板を設置したかどうか。	国土総合技術研究所が実施しているオオキンケイギクの植生管理実験については、案内のため看板（A4サイズ）を設置しているところです。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	H18に各務原市の「オオキンケイギク祭り」が中止されましたが、逆に外来種防除祭りとしてはどうか。	ご意見承りました。現在最適な駆除方法及び駆除イベントを検討しております。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	オオキンケイギクの駆除について	意見を聞いて思ったことは、行政が真剣に防除しようとしていないということ。たとえば草刈りを短期間でやっては？という意見に対して、難しいみたいな回答を管理課長が答えていたが、何が難しいのか。業者はいくらでもいるからできないわけがない。やる気がないだけ。そもそも外来生物が問題になって数年たつのにまだ実験とかいっていることが生ぬるい。本当は、あまり問題とっていないからだと思う。失望です。	

第4回木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	分類	頂いたご意見	頂いたご意見に対する考え方
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体 験館	オオキンケイギクの駆除について	オオキンケイギクを広めない様にするためには、種が落ちる前に刈取る必要があるが、除草工事の経費が高くなると思われる。その為には一般の人々に理解を得られる様、広報を行うと良い。近年 広報費が浪費である様に言われているが、必要な広報はしっかり行ってほしい。	ご意見承りました。現在最適な駆除方法及び駆除イベントを検討しております。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体 験館	オオキンケイギクの駆除について	クリーン大作戦と同様に外来種廃除活動を実施していけば少しは減少する。	
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体 験館	オオキンケイギクの駆除について	川本来の生態系を維持することは困難な状況にある。外来種の除去にも限度があり、生物の生活史を明らかにして、在来の昆虫類で除去させる研究を進め、在来種の河川にして欲しい。	外来種の駆除については、生物の多様性の確保の観点から、外来種への適切な対応が必要と考えています。地域の皆様の協力をいただきながら対応を考えていきます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体 験館	自然再生計画について	木曾川の笠松付近では、川底の砂利がなくなり、砂地になってしまい、アユなどの魚が砂利につく藻を食べて育つ魚が育たなくなっています。 ①川の堤防や、②河川敷、③水量も大切ですが魚のためには、川底の環境も目には見えませんが研究対象にしていただきたい。	河川の自然環境に関する基礎情報の定期的、継続的、統一的な調査として「河川水辺の国勢調査」を実施しています。この調査は、河川内の魚類や底生動物にも着目した調査を行っています。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体 験館	自然再生計画について	河原植物の再生というが、どのような種類を指すのか。 また、その選定方法や優先順位をどのようにつけるのか。	河原植物は、砂礫河原の環境を生息場とするカワラサイコ、カワラヨモギ、カワラハハコ等です。河川内は草地化、樹林化が進行し河原植物が生育できる環境が減少しており、河川工事に合わせて環境の改善を検討していきます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体 験館	河道内樹木について	樹林化した河川を早急に何とかすべきと考えます。治水面から見て不安感は否めません。	河川の樹林化は広大な面積になっており、伐採の必要性について優先度をつけ、伐採を進めたいと思います。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体 験館	自然再生計画について	木曾川サイクリングについて素晴らしい計画であると思いますが、河川景観や人と人のふれあう親水空間を活かすという今後の方向性から、南派川への導水をお願いしたい。現在は水流が不足しており、よどんだ水となっているため最低でも流れ（サラサラ）がある状態にしてほしい。	南派川は、樹木の繁茂が著しく、河川景観や親水性に課題がある状況となっています。このため、ご指摘のとおり、南派川への流水頻度を増加させ、砂礫河原の再生と河川景観、親水性に配慮について自然再生計画の策定にあたり検討を進めます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体 験館	木曾川サイクリングについて	レンタサイクルには子供用はあるのか。	子供用自転車も用意してございます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体 験館	木曾川サイクリングについて	レンタサイクルのコースの中に史跡等の名所・旧跡等に看板が設置されていて自転車導線でスタンプラリー（歴史コース、花コース、観光文化施設コース等々）を実施してみたら	ご意見承りました。現在、周遊マップを作成中ですので、今後の参考にさせていただきます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体 験館	木曾川サイクリングについて	ガイドツアーを開いてはどうか。	

第4回木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	分類	頂いたご意見	頂いたご意見に対する考え方
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	木曾川サイクリングについて	河川敷にサイクリングロードや遊歩道が整備されれば、簡単にマラソンコースなどができる。上下流が連携して、ツール・ド・木曾川として河口まで行けることが夢じゃなく、実現できそうだと思うている。	ご意見承りました。近隣の市町のご支援・ご協力なしにはできないことですので、その旨、近隣市町へも伝えたいと考えております。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 会場での発言	水辺共生体験館	木曾川サイクリングについて	サイクリングロードを犬山を終点とするのではなく、もっと以北の美濃加茂等まで伸ばしてもらいたい。	
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体験館	木曾川サイクリングについて	サイクリング大会等のイベントを定期的に開催してはどうか。	
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体験館	木曾川サイクリングについて	もう少し良い自転車（スポーツ車）をいれてほしい。	
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体験館	木曾川サイクリングについて	安全対策は十分配慮してあると思いますが、安全・安心できるコース整備をお願いします。	
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体験館	木曾川サイクリングについて	利用していません。今後、孫と来ます。	よろしく願います。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	ふれあいセミナーについて	ふれあいセミナーを定期的に開催してください。	年数回、タイムリーに開催していきたいと考えています。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	ふれあいセミナーについて	一般住民らの声を聞き「川づくり」に取り組まれているのが良い。但、こうした「セミナー」等の開催案内手法が充分であるかは疑問	予算縮減のなか、広報費も例外でないため、ほとんどが職員の手作りで実施しておりまして、メディアを活用した大規模な開催案内を行うことはできませんが、開催時期、開催場所、効率的な広報などを検討し、よりよい意見交換ができるようにしたいと思います。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	ふれあいセミナーについて	休みにも係わらず、役所の方が頑張っておられることにエールを送ります。	ありがとうございます。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	ふれあいセミナーについて	公園事業説明はわかりやすいが、改修事業の話も入れてみたらと思います。水制・護岸工事はこのように実施して堤防を守る。また、排水機場もシステムを理解してもらうことも必要。	今年度は環境をテーマにふれあいセミナーを進めておりますが、トピックス的な公園事業の説明や主な改修事業などについても今後テーマとして検討したいと思います。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	ふれあいセミナーについて	木曾川だけの川づくりが多くクローズアップされ、本日のセミナーも木曾川が主体の内容であった。今後、長良川、揖斐川の川づくり対策の検討会開催を考えてほしい。	ご意見承りました。次回、木曾川上流自然再生計画など木曾三川全体の説明を予定しております。
第4回木曾三川ふれあいセミナー ご意見用紙	水辺共生体験館	地域活動について	各自自治体が共同で活動していくことが大切だと思う。	その通りだと思います。ふれあいセミナーにも県・市町の方々も参加していただいております。活動が大きく広がることを期待しています。
第4回木曾三川ふれあいセミナー 木曾川サイクリング 利用改善 アンケート	水辺共生体験館	地域活動について	木曾川と言いながらルートを見ると「堤内」や「公園」めぐりである。当地域の治水の歴史は古く、これらの施設めぐりと、河道内樹林、本日の河原植物の事もあり、高水敷等に遊歩道を造り、NPO等に維持管理をまかせる事により、より良い環境（市民と川とのふれあいも含め）が構築されると思う。	ご意見承りました。可児市で遊歩道の整備・維持管理を市民団体の方々に実施していただき、良い環境が維持されている事例もごさいますので、今後の参考にさせていただきます。